

【東京都中学校英語教育研究会】

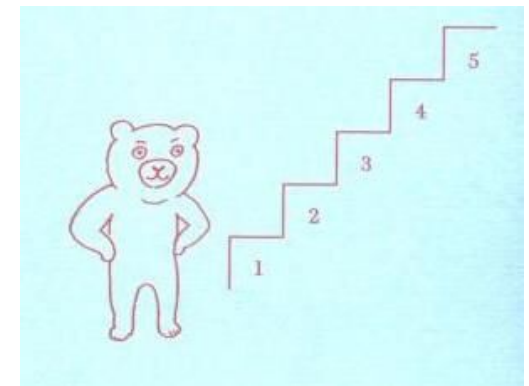
Designing English Lessons to Enhance the Quality of Classroom Interaction

教室対話の質を高める授業デザイン原理

February 20, 2026

Nagasaki University
Universität Wien

Rei Wada



Today's Agenda

□ Today's Focus 1

「対話的な学び」再考

□ Today's Focus 2

多田先生の実践から学ぶ

□ Today's Focus 3

多田実践からの視点論点

Today's Focus 1

「対話的学び」再考

【社会】スーパーマーケット見学後の対話

教師 スーパーを見学して、お店の人はどのような工夫を
していましたか。隣の人と話し合ってください。

S1 お店の人は野菜を袋に入れて買いやすくしてた。

S2 値札を見たら1の位が8の数字が多かった。
なんでかなって思った。

S1 野菜売り場にね、鍋に使うだし汁も置いてあった。
これは品物の置き方の工夫かなって思った。

S2 お肉売り場には「2割引き」と書かれたシールが貼っ
てあるのもあったよ。売れ残ったのかな。

S1 トマトの袋にはシールに「熊本産」と書いてあった。

教師 では、時間が来ました。話し合いをやめてください。
それではスーパーの人にお礼の手紙を書きましょう。

対話活動をどう評価する？

教師 スーパーを見学して、お店の人はどのような工夫をしていましたか。隣の人と話し合ってください

S1 お店の人は野菜を袋に入れて買いやすくしてた。

S2 値札には1の位が8の数字が多かった。なんでかなって思った。

S1 野菜売り場にね、鍋に使うだし汁も置いてあった。これは品物の置き方の工夫かなって思った

S2 お肉売り場には「2割引き」と書かれたシールが貼ってあるのもあったよ。売れ残ったのかな。

S1 トマトの袋にはシールに「熊本産」と書いてあった。

教師 では時間です。話し合いをやめてください。それではスーパーの人にお礼の手紙を書きましょう。

【ALへのよくある批判】 活動あって学びなし

S1・2の話は、対話ではない

- ・ 話が絡み合っていない
- ・ 内容に深まりがない

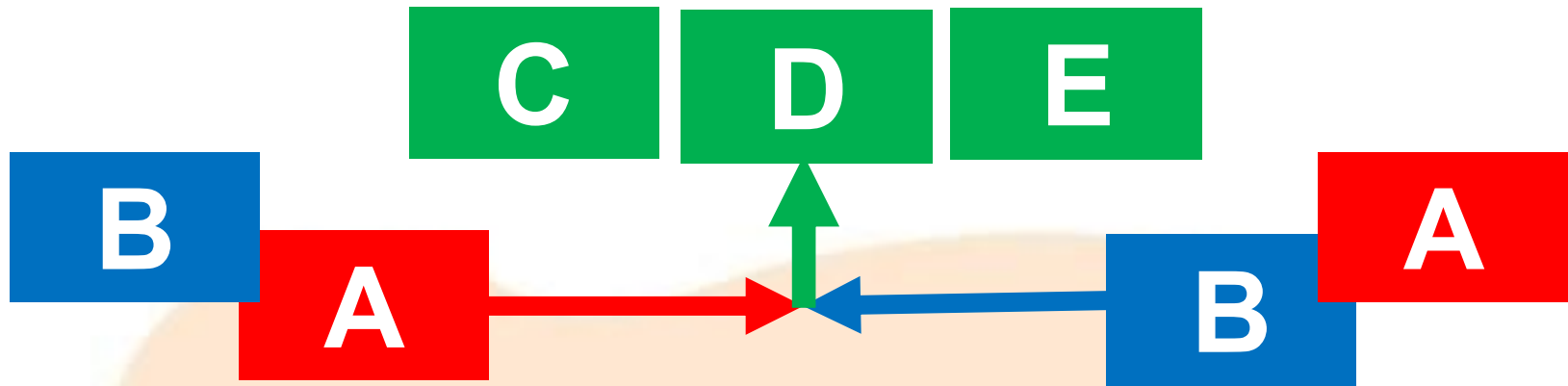
【確かな学びへ導くために】 どうする？

対話の目的を明示する
対話内容の扱いを示す

(例: 気づいたことをノートに書く、発表する
あとでペアでポスターを作る)

何を書かせる？ お礼だけ？

対話とは何か？



対話的学びの本質的機能

＜対話的学びで最も大切なこと＞

【二者間対話】から【自己内対話】へ



【社会】「自然災害を防ぐ」の学習

私は我が国の自然災害について学主するまで、自然災害をあまり深刻な問題とは考えていませんでした。それは、私の住んでいる地域は、海からも離れていて、津波が来る心配がないからです。近くを流れる川には大きな堤防が作られていて、これまでに水害は起きたことがありません。そのため、わが国は「災害列島だ」と言われてもピンと来ませんでした。

ところが、資料などでこれまでに日本で発生した自然災害の種類やその場所を調べたら、びっくりしました。いろいろな自然災害が、日本各地で毎年のように起こっていることを初めて知ったからです。

また、Hさんが「私たちはずっとこの地域に住み続けるとは限りません。どこでどのような自然災害が起こりうるかを知っていることが大切です」と言った時、私はドキッとしました。自分にも関係があると気づいたからです。

自然災害にはこれからも関心を持ち続け、必要な備えをしなければならないなと思います。

この子の学びを
どう見る？

実感

契機

変容



自己内
対話

学び合う
意義

初めの
考え

①私は我が国の自然災害について学主するまで、自然災害をあまり深刻な問題とは考えていませんでした。それは、私の住んでいる地域は、海からも離れていて、津波が来る心配がないからです。近くを流れる川には大きな堤防が作られていて、これまでに水害は起きたことがありません。そのため、わが国は「災害列島だ」と言われてもピンと来ませんでした。

いまの
考え

②ところが、資料などでこれまでに日本で発生した自然災害の種類やその場所を調べたら、びっくりしました。いろいろな自然災害が、日本各地で毎年のように起こっていることを初めて知ったからです。

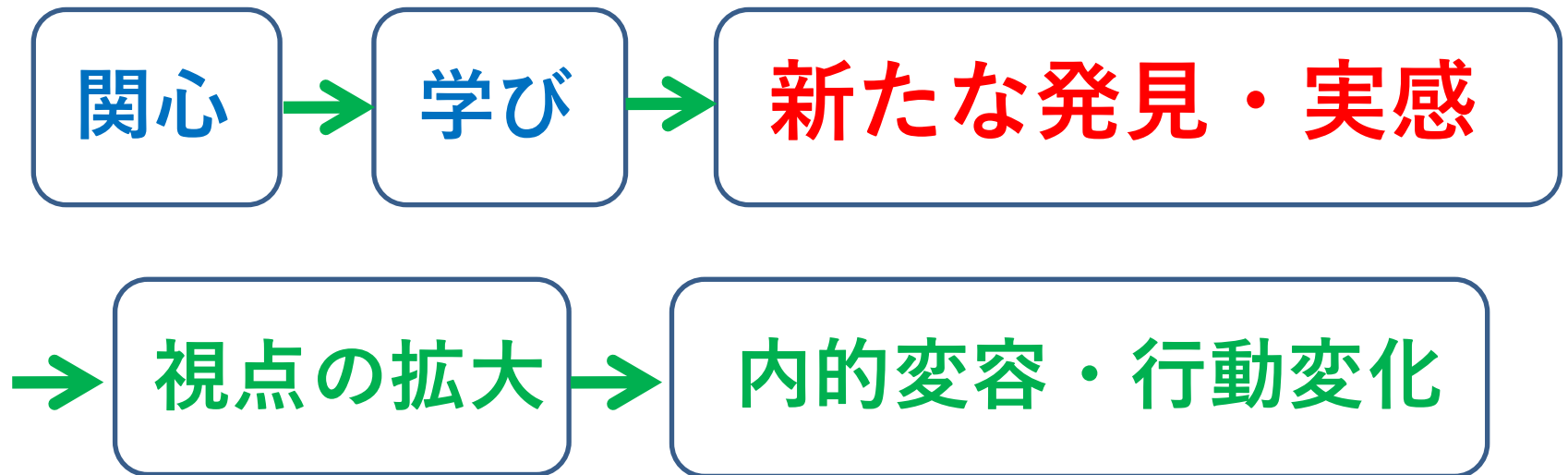
③また、Hさんが「私たちはずっとこの地域に住み続けるとは限りません。どこでどのような自然災害が起こりうるかを知っていることが大切です」と言った時、私はドキッとしました。自分にも関係があると気づいたからです。

今後

④自然災害にはこれからも関心を持ち続け、必要な備えをしなければなりませんと思います。

■ 「学ぶ」という営み

「学ぶ」とは、どんな意識で行われるか？
＝「学ぶ」という行為の5つのプロセス

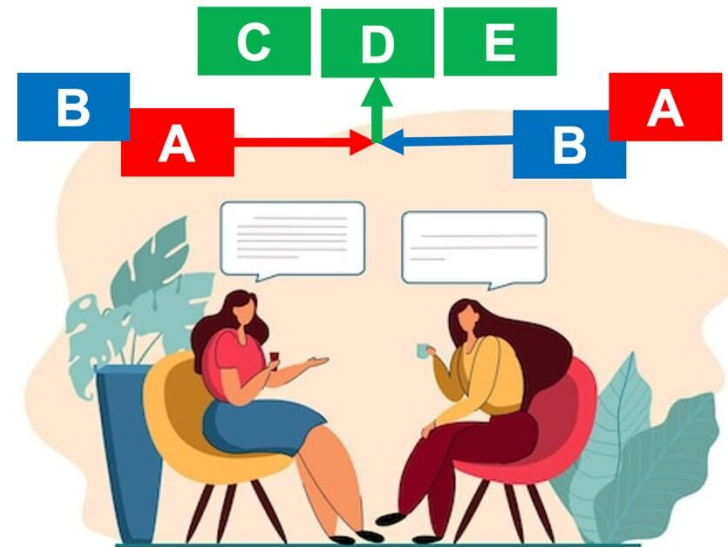


対話的学びで大切なこと

●「対話的学び」とは:

生徒が「話したかどうか」ではなく、
「**考えが更新**されたかどうか」だ。

対話とは何か？



Today's Focus 2

多田先生の実践
から学ぶ

【デザイン原理】指導案から読み取れる学ぶ

① ゴール先行型設計

- 原理： 表現目的(交流会)の明示 (→ 意欲の喚起)
- 効果： 活動が課題消化ではなく、目的達成に変わる

② 即興パフォーマンス先行型設計

- 原理： 本番的活動を先に置く構造 (→ 意欲の維持)
- 効果： 学習の必然性 (= 失敗は学習を内発化させる)

③ AIを活用した思考支援設計

- 原理： 思考支援ツールとしてAI活用 (→ 意欲の喚起)
- 効果： 場当たりの → 思考の生成・拡張・再構築

Today's Focus 3

多田実践からの 視点論点

【視点論点】今回の授業で問いたいこと

① AIとの対話

- 思考の拡張につながっているか
- 単なる情報取得になっていないか

② 仲間の発表

- 聞いて終わりか
- 書き直しの契機になったのか

③ 振り返り

- 感想か
- 思考変容を言語化したか & 方略改善のヒントを得たか

そこに
変化はあるん
か

この授業は、生徒の考えを
揺さぶる設計になっていたか。



【視点1】

どうする？



① AIとの対話

- 思考の拡張につながっているか
- 単なる情報取得になっていないか

視点を増やし、変化を感じさせたい！

【ヒント】

- ① AIの回答から「自分と違う視点」を一つ選ぶ
- ② AIに反論を書いてもらう
- ③ AIに役割を与える（批評家、ファン、海外中学生）

【視点2】

どうする?



② 仲間の発表

- 聞いて終わりか
- 書き直しの契機になったのか

他者の意見 → 自己内対話 → 表現の変化

【ヒント】 「問いを持って聞かせる」

- どこが一番伝わったか？
- どこがもう少し詳しく聞きたいか？
- その人の影響は何だと思うか？

→ 目的をもって聞くと、対話になる

【視点3】

どうする?



③ 振り返り

- 思考変容を言語化できたか
- 方略改善のヒントを得られたか

他者の意見 → 自己内対話 → 表現の変化

【ヒント】 Before / After 志向を育てる

- ① 変容の“契機”を記録させる
- ② 「どう改善するか」を言語化させる
- ③ 「次にやること」を1文で書かせる

Conclusion

●「対話的学び」とは:

生徒が「話したかどうか」ではなく、
「**考えが更新**されたかどうか」だ。

① 目的

目的が明確になると
対話は機能し始める

- AIは何のため?
- 発表は何のため?
- 振り返りは何のため?

② 扱い

対話の質は「その後の扱い」で決まる

- AIの答えをどう処理させる?
- 他者の発表をどう利用させる?

③ 再構築

対話が「思考の更新」に繋がっているか

- 考えが揺れる
- 言い直したくなる
- 次の方略が見える



universität
wien



Danke!!

